



from BEIJING



姿を現しはじめたメインスタジアム、通称「鳥の巣」

オリンピック・ドリーム？

「次々に、ビルが生えてくる……」、今の北京はまさにそのような建設ラッシュ。日銀の事務所の隣でも高さ330メートル（75階建て）と伝えられる巨大オフィスビルが建設中ですし、ホテル、マンション、テレビ局、そして地下鉄などの工事が目白押し。町中が工事現場と言っていささかの誇張ありません。夜中まで「ウォーン、ウォーン」という重機のうなりがそこかしこに聞こえ、一般の交通量が減る深夜には、「ダンプカー集団」が轟々たるエンジン音と濛々たる砂塵を巻き上げながら街を駆け抜けて行きます。夜を日に継いでの突貫工事、そう、「2008年8月のオリンピックまでに完工させる！」というのが、工事関係者の目標です。

オリンピックのメインスタジアムも既に姿を現しました。「鳥の巣」を模した瀟洒なこの建物は、夜には光線が内部から外に向かってあふれ出る感じの予想図が公開されており、夜間に予定されている開会式がたいへん楽しみです。

北京オリンピックのテーマは、“One World One Dream”。久々のアジアでの開催でもあり、平和の祭典として大きな成功を収めて欲しいものです。

ただ、その一方で、少し気になることも……。 「ビルが生えてくる状態」ですが、街を歩いていると途中で工事が止まっているものや、完成しても人気のあまり感じられないビルも見受けられます。また、工事の影響もあってか街全体がとても埃っぽい状態です。大雨が降った翌朝などは、事務所からも北京郊外の山が遠く望まれ、「本当は、こんな景色なんだなあ」と思わずつぶやいたりしてしまいます。

高度成長に伴うさまざまな副作用、それをどのように克服しながら発展を図っていくのか。中国からは今後も目が離せません。

（日本銀行北京事務所）



日銀北京事務所の隣でも現在75階建てのビルを建築中



建設ラッシュにわく北京の街並み